行事報告書（研修）

報告者：鹿本郁代

行事名	2025 年 11 月度　自然観察会
実施日時	2025 年 11 月 13 日（木）10：00～15：30　天候：雲時々晴
場所	甲山森林公園
テーマ	秋の樹木の生き様
講師	児玉勝久さん
参加者数	22 名
概要	研修室で先ずは地球温暖化のため森林公園の植物はどうなっているのか・紅葉し始めているのか見るチャンスとお話が有り出発。 ★観察コース：10：15 パークセンター前～西門～噴水広場～北門～みどり橋～ 12：50 研修室にて昼食～13：30 室内研修～15：30 終了 ★色づきの観察 順次開葉樹は下部から紅葉（黄葉）して落葉する。一斉開葉樹は上部から落葉する。 サクラ類（葉が上から色づくとすぐ落ちる）他の樹木は色づいても残るものが多い。 カクレミノ（常緑だが下部の古い葉が黄葉して落ちる）ヒメコウゾ・アカメガシワ（幼木が多い成長が早い）ツクシハギ（花が残る）・コツクバネウツギ（枝先は髄あり、成長に伴い空洞化）・モチツツジ（半落葉の様子）コバノミツバツツジ・シラカシ（2 回展葉している）ネジキ（葉が残っている、枝が赤い）ハリエンジュ・カキノキ・ナツハゼ・ハゼノキ（葉緑素が消えると赤が綺麗）・カナメモチ・イロハモミジ・ナツツバキ・クスノキ（若い枝が赤いものをアカグスということもある）・カマツカ・ウラジロノキ・アマズル等の葉の様子 ★果実・冬芽の観察 ナツフジ・ナツハゼ・ザイフリボク・ウラジロノキ（短枝に果実と葉が出る）・アオハダ・マルバアオダモ（冬芽）・サンシュユ（アキサンゴ）・イヌシデ・ニシキギ（種皮が赤い）・ムク・クスノキ・カマツカ・シャシャンボ・タラ・アオツヅラフジ・ウバメガシ・アラカシ・センニンソウ・ヤブムラサキ・クロガネモチ・ソヨゴ等果実や冬芽の様子を観察 サザンカ・ツバキ・キンモクセイ等の蕾観察 ★研修室： ・採取した果実やシュートなどを使って本日の観察の復習。 モチツツジ（半落葉樹）。オオバヤシャブシ（果穂の中の果実の先端の花柱が 2 つに分かれている）　タラの果実は黒くて目立たないので果柄が色づく。サンシュユは江戸時代から薬用に利用　赤い果実を鳥はあまり食べない。（モチノキ科は赤い果実が多い） ・「今年の異常な気象と樹木の生き様」プロジェクターを使い紹介 サクラ類の黄葉・落葉…8 月上旬からみられた。降水量が極端に少なかった。 2 次展葉が普通に見られ、三次展葉も一部で見られる。（クスノキ・アラカシ・モミジ等） 秋期の花の開花遅れ　ハギ類、キンモクセイ、サザンカ等 他にクマ・シカの増加　海水温の上昇によるサンゴの死滅　漁業への影響 カメムシ類の異常発生 温暖化と今年の気象が樹木にどのように影響しているかを学習
感想	始まったばかりの紅葉を観察しながら、気持ち良い季節がもう少し続いて欲しいなと感じました。

ツクシハギ

ハゼノキ

マルバアオダモ

クサギ

ヤシャブシの花穂と果実

センニンソウ

ナツハゼ

モチツツジ

タラノキ

サンシュユ

ヌルデ